

選挙と政党

現代社会

憲法

政治

経済

国際社会

これから

今日の問い

選挙はどのようなしくみで行われ、どんな課題があるのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 選挙のしくみと課題

選挙制度

普通選挙

一定の年齢以上のすべての国民に選挙権がある。

小選挙区制

1つの選挙区から1人を選ぶ方法。

比例代表制

政党の得票に応じて議席を配分する方法。

一票の格差

選挙区ごとの有権者数のちがいによる票の重さの差。

日本の選挙は、18歳以上のすべての国民が投票できる**普通選挙**、1人1票の平等選挙、候補者に直接投票する直接選挙、だれに投票したか知られない**秘密選挙**の四つの原則で行われる。1つの選挙区から1人を選ぶ**小選挙区制**や、政党の得票に応じて議席を配分する**比例代表制**があり、衆議院は小選挙区289人と比例代表176人の計465人を、この二つを組み合わせで選ぶ。

選挙の課題の一つが**一票の格差**である。選挙区ごとに有権者の数が異なるため、有権者の多い選挙区では一票の価値が軽くなる。最高裁判所は、格差が大きい選挙を「違憲状態」や「違憲」と判断したことがあり、議員定数や選挙区の見直しが行われてきた。もう一つが**投票率**の低下で、とくに若い世代で低い傾向がある。期日前投票の拡大など、投票しやすくする工夫も進められている。

制度	長所	短所
小選挙区制	政権が安定しやすい	死票 が多い
比例代表制	得票が議席に反映される	小党が分立しやすい

2 政党政治

政党

政党

政治の考えが同じ人が集まった団体。

与党

政権を担当する政党。

野党

政権を担当しない政党。

連立政権

複数の政党が協力してつくる政権。

政党は、政治に対する考えが同じ人々が集まり、政権の獲得をめざす団体である。選挙では、政党が政策の目標や実現の方法をまとめた**政権公約**(マニフェスト)を示し、有権者はそれを見て投票する。選挙の結果、内閣を組織して政権を担当する政党を**与党**、それ以外の政党を**野党**という。議会で1つの政党が過半数をとれないときは、複数の政党が協力して**連立政権**をつくる。

与党は政策を実行し、野党は政府や与党の政策を監視・批判して、よりよい案を示す役割を担う。政党の活動には多くの費用がかかるため、国は一定の条件を満たす政党に**政党交付金**(政党助成金)を配っている。日本では長く自由民主党を中心とする政権が続いたが、連立政権や政権交代も経験している。有権者には、政党の政策を比べて選ぶ姿勢が求められる。

問いへの答え

日本の選挙は普通・平等・直接・秘密の四原則で行われ、小選挙区制と比例代表制を組み合わせで議員を選ぶ。一票の格差や投票率の低下が課題である。政党は政権公約を示して選挙にのぞみ、与党は政策を実行し、野党は監視する。有権者には政策を比べて選ぶ姿勢が求められる。

次は ノート で、下線に語句を書きながら確かめよう →

